



ハイブリッド開催!

第15回 島根大学医学部附属病院 医療連携会議を開催しました

地域医療連携センター センター長 たなべ かずあき
田邊 一明

当センターでは毎年、地域や患者ニーズに応じた医療機関相互の連携強化を目的に医療連携会議を開催しています。今年度は、3月6日(木)に、当院会場とWEB会議を用いて開催し、新たに飯南町立飯南病院を加えた計15の施設から医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員等様々な職種の方にご参加をいただきました。

当日は、「地域医療連携の現状と課題」をテーマに、当院からは退院支援の実績報告のほか、近藤地域医療政策センター長より『「PHR」導入に向けて』と題しPHR(Personal Health Record)を活用した今後の構想について(図1)、そして膠原病内科一瀬診療科長より、リウマチ疾患患者への後方支援について、島根県の医療の現状を交えながら説明を行いました(図2)。

また、ご参加いただいた医療機関からは、各病院の取り組みや課題、当院へのご要望、出雲圏域を中心とした医療の現状に関する情報提供をいただく等、活発な意見交換がなされました。

当院では、本会議でいただいたご意見を受けとめるとともに、安定した医療を提供できるよう、医療機関の皆様とより連携を深め、地域医療の活性化を図って参ります。

今後とも、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

図1

もしもの時にも・・・

島大病院の患者さんが

北海道旅行中に倒れても

スマホでQRコードを見せさえすれば

受診歴がない病院でも最新の医療情報を確認できる

図2

リウマチ疾患患者の入院診療の実際

ANCA関連血管炎 (AAV)

顕微鏡的多発血管炎

男女比はほぼ1:1で、好発年齢は55~74歳と高齢者に多い病気

1-2週間入院後、残りのIVCYやRTXは短期入院で実施できればよいが、退院できない全身状態の場合、長期入院が必要となる

専門性の高い治療なので専門医がいない病院へ転院して治療継続することが困難

IVCY 2-4週毎に計6コース程度実施
・副腎皮質ステロイド+リツキシマブ
大量ステロイド
RTX 週1回計4コース実施
*寛解導入治療がおわるのに1~6か月かかる

問合せ先 地域医療連携センター TEL: 0853-20-2061

